

# REPORTER'S EYE



【リポーター】  
菅野ふさ子さん  
(南入曾在住)  
今回は、市民公開講座も教育の相談も引き受け、味方になってくれる教育センターのご紹介です。

## 子どもの教育に悩んだら ぜひ一度訪れてみてください



狭山台の閑静な住宅街の一角に、狭山市立教育センターがあります。どんな施設かあまり知らなかったの、大変興味深くレポートしました。

### 教育関係職員の研修・研究で 狭山市の教育振興をめざします

教育センターは、学校教育と社会教育関係職員の調査・研究をするための施設です。また、狭山市の教育振興のため、教育関係職員の研修、自主研修も設けているそうです。さらに、それを補助するために大切な資料となる教育に関するさまざまな資料や図書も収集、保管されていて、多くの職員に活用されています。また、幼児や児童、生徒、父母からの教育相談や、進学の悩み、いじめなどによる不登校などの諸々の相談にも応じ、守秘態勢を万全にして満足いく対応ができるように心がけているとのことでした。年間計画には市民向け公開



センターは、この茶室での茶道教室(公開講座)に参加して知りました。

講座も組み入れ、コンピュータ、語学、教育心理、茶道体験、華道体験などの講座や、市民開放講座講演会などを計画、実行しているそうです。そのなかの相談案内では、平成3年に開所されて以来、寄せられる件数が年々増加の傾向にあり、相談者の低年齢化なども否めぬ事実で、他市町村でも共通の悩みとなっているそうです。そのようなことから、特に夏休みなどに重点を置いて、生徒の体験教室などが開かれています。変化の激しい今日の社会に順応していきけるような児童、生徒を育成するため、努力していらっしやるのがわかりました。ご説明のなかで、事業報告の相談件数に「幼児」という欄があったので、そんなに小さいうちから相談があるのかと思います。過去に、言語に障害を持つ幼児の相談が比較的多かったとのことでした。それを伺い、私はずつと以前の忘れることのできない苦い経験



外観も内部もとてもきれいで、活用しやすい教育センター(狭山台2-7-4)

を思い出しました。うちの娘は元来寡黙で、言葉よりも体を動かす方が得意でした。それでも、必要なことは話していたのであまり心配はしていませんでした。それが小学校入学が近づくと、急に話をしなくなりました。私たちも驚きましたが、幼稚園の先生も心配されるほどでした。主人と私は何とかせねばと必死で、自分の小学校のころの楽しかった話をしたり、本を読み聞かせたり、一緒に童謡を歌いながら遊んだり、本当に心急ぐ毎日でした。そんなある日、右に妹、左に兄を抱くようにして話していると、不意に兄の方が「お母ちゃまの顔は向こう側の半分はにこにこ顔で、僕の方に向いている半分はぶんぶん顔に見える。」と言ったので、私は本当に驚きました。毎日神経をすり減らし疲れていたとはいえず、二人に平等の顔ができていかなかった自分腹が立ち、悲しくて涙が流れました。そのころこの教育センターがあれば、すぐに相談できたものを、迷い嘆く、弱い心の拠りどころにできたものを、と残念でした。幸い二人とも順調に成人しましたが、誰にも子どもの心配ごととはあるの

## Opinion コーナー



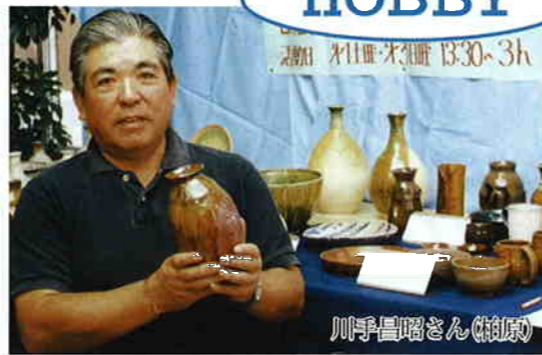
坂下敏寛さん  
(笹井在住)

### 大好きなサッカーを通じて 人間性も高められました

僕は小学校1年生のときから、サッカーを始めました。今は、狭山ジュニアユースでキャプテンを務めさせてもらっています。サッカーを始めたら嫌になつたり、練習が嫌になつたことは、一度もありません。大好きで、プレイしていると本当に夢中になります。キャプテンも、初めは務まるかどうか不安でしたが、今はみんなをまとめるために、まず自分が一番一生懸命やることにしています。そうすれば、みんながついて来

てくれると思うからです。サッカーを続けていくよかったです。自分でも、礼儀とか忍耐力などが身に付いたかなと思います。このことは、これから先の僕の人生のなかでも、とても重要なことだと思っています。それから、自分の世界を家や学校以外にも持ち、何か打ち込めるものがあると、今問題になっているいじめとか、不登校にもなりにくいと思います。だから、みんなもスポーツとは限らず、何か自分の好きなものをみつけ、その世界を大切にしていけるといいと思います。

## HOBBY



川手昌昭さん(柏原)

### 陶芸

陶芸を始めたきっかけは、ちよつと不純なんです。60歳になり、何か始めようと考えたとき、趣味と実益を兼ねられる、と思いついたんです。今は、男性だけのサークルなどに入っている、繊細なもの、無骨で味のあるものもあり、とても楽しく創作しています。また、地域活動として年に一度市内の老人ホームに作品を届けています。とても喜んでくださり、リクエストがくるほどです。これからは、自宅の食器を全て手作りできる位に腕を上げられるようがんばります。

### よりよく、より早く、より安くをモットーに 国際的な信頼を得ています



エネルギッシュ 狭山の企業19

小島化学薬品株式会社  
柏原337-29 電話531-9231

昭和36年設立。高純度貴金属薬品の製造販売やエレクトロニクス産業から発生するスクラップの貴金属回収精錬を主に行っています。また、エレクトロニクス産業に不可欠な貴金属メッキ薬品の開発にも力を注ぎ、半導体などの開発に重要な役割を果たし、海外進出もしています。そして、生活環境を大切にするために、環境浄化触媒化学(阪神大震災などで活躍している新しい技術)でも絶えず技術開発の充実を図るなど、国際的な企業として多大な信頼を受け、空洞化の進む日本でも安定した発展を遂げています。また社内において、よりよい職場環境を目指し、社員全員がとてアクトティブな会社です。

## 狭山の生態系シリーズ⑬

### トノサマバツタ



撮影：鳥生態系保護協会狭山支部  
高橋昇さん(中新田)

バツタ科。オスは約35mm、メスは約50mmです。荒れた土地に多く、ダイミョウバツタとも言われます。丈夫な後ろ脚で跳ね、体長の10倍以上の距離を飛びます。日本全土に生息し、成虫は8〜11月に見られ、たまたま冬を越します。稲科の植物をよく食べ、増え過ぎると大群バツタとなり、緑を食い尽くした例もあります。大群バツタは体が黒っぽく、移動しながら生活場所を広げ、えさ不足を防ぎます。